

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

登録番号 127

ふりがな 氏名		こざかい ちなつ 小坂井 千夏				
所属先	所属先名称	(国研) 農研機構中央農業研究センター				
	役職名	虫・鳥獣害研究領域 鳥獣害グループ 研究員				
専門分野		総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理 (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) 利活用 (食肉利用等) その他 ()				
対象鳥獣		シカ イノシシ サル クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()				
対応可能地域		全国 北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 沖縄 その他※特定の都道府県、地域 ()				
免許及び資格		狩猟免許 (銃 : 取得年 年、 わな : 取得年 年) 鳥獣保護管理 () 鳥獣管理士 () その他 () 博士 (農学)				

※活動実績は次頁

活動実績	
活動期間	令和元年6月～現在
地域	茨城県坂東市
対策の種類	<p>総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成</p> <p>野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化）</p> <p>利活用（食肉利用等）</p> <p>その他（ ）</p>
対象獣種	<p>シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ）</p> <p>ハクビシン アライグマ アナグマ</p> <p>カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ</p> <p>その他鳥獣（ ）</p>
活動の内容	<p>当該市におけるアライグマ・ハクビシンの効率的、効果的な捕獲体制についての助言を定期的に行っている。令和元年10月には近隣市町村等の鳥獣担当者を集めた意見交換会を坂東市と共催で開催し、早い段階でのアライグマ対策、捕獲の必要性に加え、収穫残差などの管理も含めた被害対策の重要性について助言した。* 収穫残差を含めた管理については、これらがどれほど野生鳥獣にとって良い餌となるか具体的な研究成果とともに紹介した。</p>

活動実績	
活動期間	令和元年5月
地域	全国研修
対策の種類	<p>総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成</p> <p>野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化）</p> <p>利活用（食肉利用等）</p> <p>その他（ ）</p>
対象獣種	<p>シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ）</p> <p>ハクビシン アライグマ アナグマ</p> <p>カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ</p> <p>その他鳥獣（ ）</p>
活動の内容	<p>農林水産省農村振興局平成31年度農作物鳥獣被害防止対策研修において、「アライグマ、ハクビシン等中型獣類による農作物被害対策について」という演題で、行政担当者向けに、早い段階でのアライグマ対策、捕獲の必要性に加え、収穫残差などの管理も含めた被害対策の重要性について情報提供等を行った。</p>